志賀自然教育研究施設昭和62年度事業報告

I 運営委員会

第1回 昭和62年7月13日(学部第2会議室) 昭和61年度事業報告,決算報告。 昭和62年度事業案,予算について討議、承認。

第2回 昭和62年10月2日(学部第2会議室) 施設の将来計画(0免新課程に関連して)と営繕要求について討議。

II 施設管理

浄化槽の修理, ロックガーデンの歩道整備。

III 出 版

- a. 研究業績 No. 25 (36pp) の編集印刷配布 (500部)。
- b. 園内案内パンフレット5,000部印刷配布。
- c. [長池の四季] 12回(各400部)発行。
- d. 「長池だより」12回(各400部)発行。

Ⅳ 自然観察会 · 園内解説

- a. 園内自然解説(11団体1,673名)
- b. 自然観察会(8回90名)

V 合宿研修の受け入れ

昭和62年度教員養成課程学生合宿研修

6月23日-7月3日(1-5班)

7月7日-7月15日 (6-9班)

合宿研修用の野外観察実習帳の作成 (86pp)

VI 大学公開講座

公開講座 [郷土の自然を探る] 7月2日,8月2日,9月3日,10月1日の4日間の日程で,志賀高原及び長野市地附山,飯山市鍋倉山で野外講義を実施,参加者9名。

WI 施設利用状況

入館者数は前年度までと同様、展示館入口に置いた名簿の記帳者数をまとめたものである。

前年度より約6,000名の減少は、特に団体の減少による。原因は定かでないが、記帳もれや、落書、記帳破損などによるものも一部あると思われる。しかし、数年前に比べ多人数の団体がやや減少気味にあることは確かである。志賀高原内の遊歩道の整備にともない、探勝コースの多様化も一つの原因にあげられよう。また、学校などの行事として本園を利用する場合、時期がほぼ一致するため、園内でいくつもの学校がぶつかり混雑をさけるため、コースを変更したりした場合もあるのではないかと推測している。

他に一般団体は増々少人数化の傾向にあり、これらも記帳上団体としてあつかわれなくなってきている

(団体は10人以上としてある)。これも団体数の減少となってあらわれていると思う。

昭和62年度入館者数

表1 来館団体の種類

	県	外県		内	計	
	団体数(%)	人 数(%)	団体数(%)	人 数(%)	団体数(%)	人 数(%)
小 学 校	10 (8.1)	781 (11.0)	3 (7.0)	158 (12.3)	13 (7.8)	939 (11.2)
中 学 校	12 (9.7)	2,628 (37.2)	4 (9.3)	570 (44.4)	16 (9.6)	3,198 (38.3)
高等学校	20 (16.1)	1,144 (16.2)	3 (7.0)	111 (8.6)	23 (13.8)	1.255 (15.0)
大 学	7 (5.6)	174 (2.5)	1 (2.3)	87 (6.8)	8 (4.8)	261 (3.1)
一 般	75 (60.5)	2,343 (33.1)	32 (74.4)	358 (27.9)	107 (64.0)	2.701 (32.4)
計	124(100.0)	7.070(100.0)	43(100.0)	1.284(100.0)	167(100.0)	8.354(100.0)

表 2 団体の県内外の比率 (%)

団体	の種類	小 学 校	中学校	高等学校	大 学	一 般	計
県	内	23.1	25.0	13.1	12.5	29.9	25.7
県	外	76.9	75.0	86.9	87.5	70.1	74.3

表 3 月別参観者数

月	個 人(%)	<u> </u>	体	計 (%)
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	個 人(%)	団 体 数 (%)	人 数 (%)	∄I (/o/
5	260 (5.5)	5 (3.0)	439 (5.3)	699 (5.3)
6	187 (4.0)	14 (8.4)	1,236 (14.8)	1.423 (10.9)
7	728 (15.4)	55 (32.9)	4,387 (52.5)	5,115 (39.1)
8	3.099 (65.6)	71 (42.5)	1,709 (20.5)	4.808 (36.8)
9	234 (5.0)	19 (11.4)	505 (6.0)	739 (5.7)
10	194 (4.1)	3 (1.8)	78 (0.9)	272 (2.1)
11	22 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	22 (0.1)
計	4,724(100.0)	167(100.0)	8,354(100.0)	13,078(100.0)